

コンプライアンス研修の やり方

はじめて社内でコンプライアンス研修を実施するときに

+

○

•



mane bi

目次

- manebiのプロフィール
- イントロダクション
 - この資料の目的
- コンプライアンス研修とは
 - コンプライアンス研修をやらないとどうなる？
 - コンプライアンス研修の種類
- コンプライアンス研修のやり方
 - 知識のインプット
 - 研修成果のチェック
 - 足りないところの再インプット
- コンプライアンス研修の完了報告
 - 研修を実施したら
- コンプライアンス研修を手軽に効率よく行う
- ために
 - manebi eラーニングの特長
 - お問い合わせ

manebiのプロフィール

会社名 株式会社manebi

所在地 東京都豊島区東池袋 1 丁目18番1号 Hareza Tower 20F

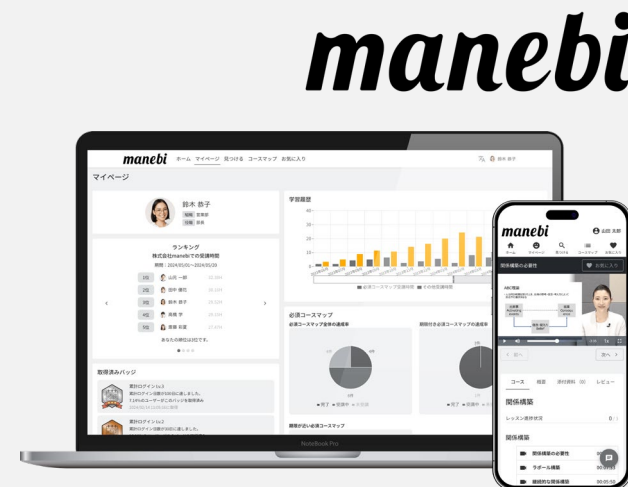
設立 2013年8月

Webサイト

<https://manebi.co.jp/>

事業内容

- ・ 社員教育プラットフォーム「manebi eラーニング」の開発・販売
- ・ 派遣特化型eラーニング「 派遣のミカタ」の開発・販売



+

•

○

イントロダクション

この資料の目的

この資料では、企業の人事担当や総務担当の方、その他の人事関連の業務に携わる方々が、法律の改正や自社ブランディングのためにコンプライアンス研修の実施が必要になった際に役立てていただけるよう

コンプライアンス研修のやり方

研修実施時の留意点

研修実施後の報告や対応

などについて記載しております。
日々の業務にお役立ていただけたら幸いです。



コンプライアンス研修とは。

コンプライアンス研修では、自社の従業員が企業の倫理規範や行動規範に従って適切な判断と行動を行えるようになることを目指します。

効果的な研修は、**自社の評判を守り、リスクを抑える**役割を果たします。適切な研修プログラムを提供することで、自社の成長と持続的な成功につながります。

研修で法令や倫理を学んでいただき、適切な判断と行動を身につけてもらいましょう。

コンプライアンス研修をやらないとどうなる？

コンプライアンス研修を実施しない場合、自社全体として法令遵守への意識や倫理規範が欠け、法的トラブルにつながる可能性が高まります。例えば、顧客情報の不適切な取り扱いや、職場でのパワハラが発生し、**訴訟を起こされたり**、企業に**罰金や業務停止命令などの損害**が生じることがあります。

また、企業にはコンプライアンス研修が義務付けられている場合もあります。例えば、パワハラ防止法では、職場でのハラスメントを防ぐために、雇用主は従業員に対して**研修を実施する義務**が課せられています。

更に、評判の低下や顧客離れ、人材の確保が難しくなるリスクが増える可能性もあります。コンプライアンス研修は、従業員が適切な行動を身につけることで、企業の成長と信頼を保ち続けるための重要な取り組みです。

コンプライアンス研修の種類

コンプライアンス研修にはさまざまな種類があります。

1. 法令遵守研修

企業活動に関連する法律や規制（労働基準法や独占禁止法など）を理解し、遵守するための研修

2. 情報セキュリティ研修

個人情報や企業情報の適切な取り扱い方法を学ぶ研修

3. パワハラ防止研修

職場でのハラスメントを防ぐための研修、パワハラ防止法に基づいて義務付けられた研修も含まれます

4. セクハラ防止研修

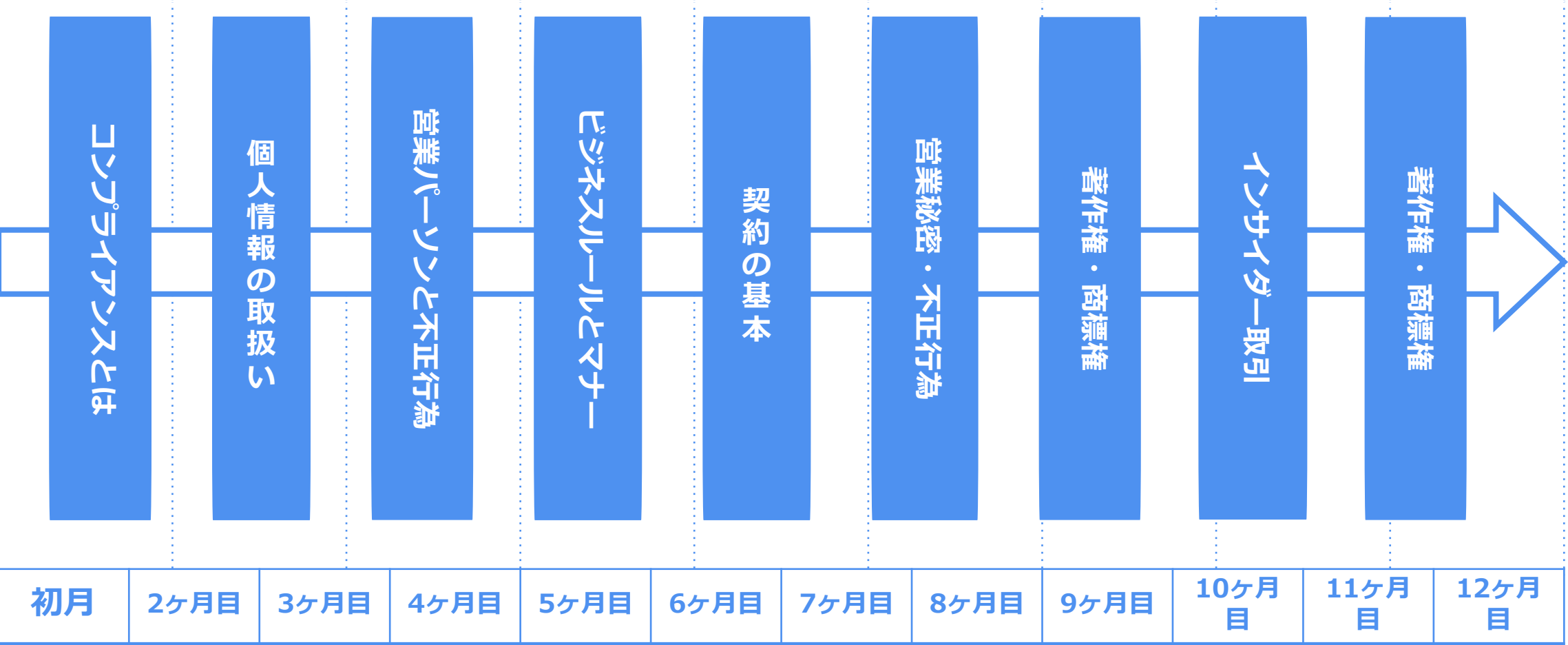
性的ハラスメントを防ぎ、職場環境を向上させる研修

5. 企業倫理・コーポレートガバナンス研修

企業の価値観や行動規範を理解し、遵守するための研修

年間を通した研修計画

細分化すると実に多くの研修があり、年間を通して計画的に実施することが推奨されます。



年間スケジュールのイメージ

※一例です

+
・
。コンプライアンス研修の
やり方

知識のインプット

コンプライアンス研修でメインとなる、法律や規定をインプットしてもらう方法です。自社の従業員の働き方や研修の目的によって選択しましょう。

1. 講義形式の研修

- ・ 専門家や経験豊富な社内講師が法律や規定について説明する

2. eラーニング

- ・ オンラインで学習コンテンツを閲覧し、従業員が自分のペースで学習を進めることができる

3. ケーススタディ

- ・ 実際の事例を参照しながら、法律や規定に関連する問題を考える

4. ワークショップ・グループディスカッション

- ・ シミュレーションやロールプレイを通じて、適切な対応方法をコミュニケーションも交えて学ぶ

研修成果のチェック

カークパトリックモデルを踏襲して成果をチェックすると、適切なタイミング・観点での計測が可能です。

会社の業績や本人の業績向上などの成果に繋がったか
ということ測定します。売上の向上やアポイント獲得率の向上など。

※コンプライアンス研修の場合は計測が難しい場合がございます

4.
成果

実行できているかを上長・同僚へのアンケートなど360度評価を用いて確認します。
研修3ヶ月後に評価するのがベターです。

3.行動

試験やロールプレイ、レポート提出などで
実際に身についたかを評価します。

2.学習

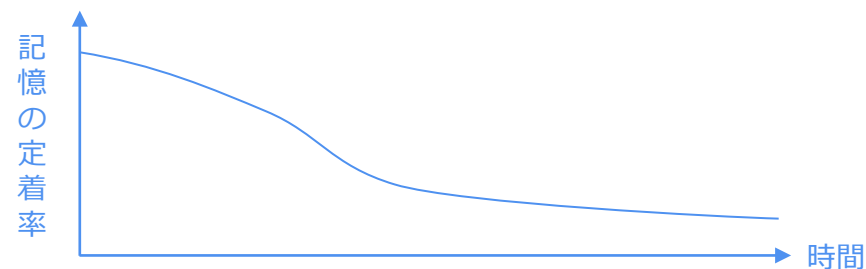
研修直後の満足度の評価です。
アンケートをもとに調査されることが基本です。

1.反応

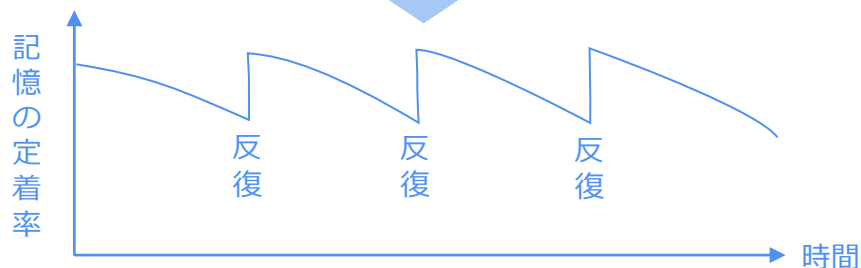
足りないところの再インプット

人間の記憶は時間とともに著しく薄れていってしまいますので、1度の研修で終わりにせず
反復学習と反転学習を使い分けて、知識定着を確実に行っていきましょう。

反復学習



忘却曲線 (イメージ)



忘却曲線 (イメージ)

反転学習

通常の学習



集合研修



振り返り学習

反転授業



事前学習



集合研修

※学習者の能動性の向上、ひいては定着度向上に
一定の効果が期待できます

+
・
○

コンプライアンス研修の 完了報告

研修を実施したら

パワーハラスメント防止法対策

特に厚生労働省などに報告する義務はありません。

ただし、研修の内容や開催状況を記録し、必要に応じてそれを提出できるようにしておきましょう。

万が一パワーハラが社内が発生した場合、自社のリスク管理に役立つ可能性があります。

個人情報保護法

同じく報告の必要はなし。

個人情報保護方針や内部規程で研修の実施を定めている場合、それを確認・監査するための報告が必要になることがあります。

また、万が一個人情報の漏えいや不適切な取扱いが発生した場合、その事実とともに予防策としての研修の実施状況を関係機関や被害者に対して説明する必要があります。

+

•

○

コンプライアンス研修を
手軽に効率よく行うために



manebi eラーニングの4つの特長

manebi



5,000レッスンの豊富なeラーニング教材

豊富なジャンルの教材が揃っているので、階層別研修から職種別研修、コンプライアンス研修、ハラスメント研修、情報セキュリティ研修、IPO研修まで、様々な研修にご活用いただけます。



200件に及ぶ豊富なコンプライアンス教材

コンプライアンス研修といっても、対象の階層なども様々に想定されます。新人向け、管理職向けなど階層別のコンテンツを網羅し、それぞれにあったコンテンツをご提案します。



学習フローがわかりやすいコースマップ機能

順番通りにレッスンを視聴するだけで学習が進みます。学習のゴールとステップを可視化することで「何をどう学べばいいかわからない」を解決し自主学習を進めやすくします。



安心のカスタマーサポート

eラーニングシステムの導入やオンライン研修の実施が初めての企業様にも安心のサポート付き。導入時の運用準備～導入後のご相談まで、実現したい教育体制・学習環境づくりをサポートします。

お問い合わせ

お気軽にご相談ください。

eラーニングを導入しても、運用が難しくて失敗する企業は多いものです。成果を出すためには適切なステップで利用する必要があるため、プロに相談しながら自社に合った方法で活用しましょう。manebi eラーニングは**5,000以上のコンテンツ**を誇り、**eラーニングの課題を解消するために欠かせないコースマップ機能、自社コンテンツのアップロード機能、テスト機能**を標準装備しています。また、**専門知識を持ったプロによる導入や運用のサポート実績**も豊富です。まずはお気軽にご相談ください。

manebi

教材5,000レッスンが見放題！
オンラインの社員教育を
低コストで実施できるeラーニング

manebi

株式会社 manebi
東京都豊島区東池袋 1 丁目18番1号 Hareza Tower 20F



TEL
050-1745-1811
(平日9:00~18:00)



Mail
sales-manebi@manebi.co.jp
(manebi事業営業部)



Website
<https://manebi.co.jp/course/compliance/>



・⁺。ありがとうございました⁺。○